

特別授業『夢を形に』今こそ君達の出番だ！！

主催 花いっぱいプロジェクト

使用する樹木

オオシマザクラ 1本



キンモクセイ 1本



モッコウバラ白 30本



モッコウバラ黄色 30本



ヤマユリ 500本



スズラン 1000本



ヒヤシンス 500本

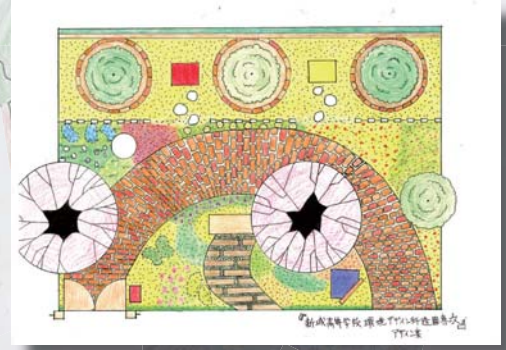
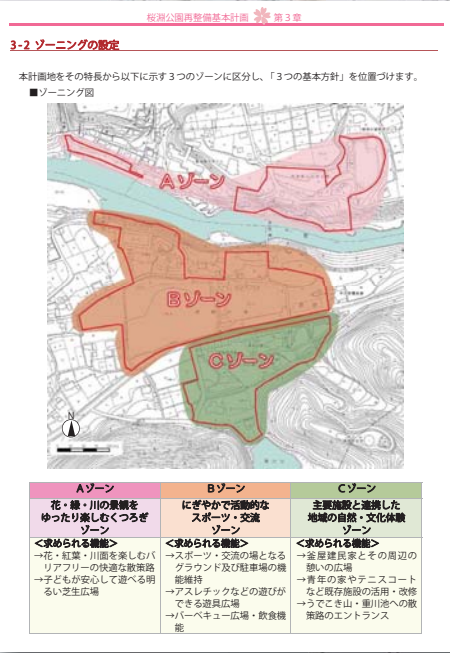


スイセン 1000本



新城高等学校生産季節のハーブ苗 3000本

「私は・・・小さいとき愛知にいたのよ。・・・そう。豊橋から飯田線というので・・・本物の田舎だね。・・・でも、とても桜の綺麗なところだったの。・・・あのね、崖があって、その下を川が流れているの。それで、その崖から川まで桜でいっぱいなのよ。あそこほど桜の綺麗なところはなかったなあ。」小説『あん』より
後に映画化され、カンヌ映画祭「ある視点」部門オープニングフィルムに出品するなど注目されている『あん』。樹木希林演じる主人公、徳江の思い出の故郷として回想される桜淵公園。
年間20万人以上が利用する「新城市の顔」桜淵公園。映画の舞台にもなり、市民の思い出がいっぱい詰まった公園の再整備計画が今年の3月に策定され、植栽に関しては新緑や花が美しい植栽を充実させる必要があるとの結論が出ました。
そこで、花いっぱいプロジェクトでは、市内の小学生に自分が想う花いっぱい夢の公園のスケッチを依頼し、それを元に、新城高等学校の園芸科学科の生徒にかおりの樹木データを参考に植栽の選定、環境デザイン科の生徒が図面にまとめ、小学生の夢を高校生が形にします。そして、高校と公園が隣接している立地を活かし、管理を授業のカリキュラムに組み込む事で実践的な実習ができ、綺麗な公園も維持できます。挑戦と失敗を繰り返し、夢が形になった時、子供たちは今よりもっとこのまちが好きになります。



※環境省または一般社団法人 日本植木協会の写真を使用しています。